

- 主要農産物の生産拡大、新たな品目による産地づくりや農地の有効活用を進めるとともに、農閑期に「干し芋」の加工事業を創出（「令和2年度6次産業化アワード」受賞）して事業の通年化を実現し、雇用の維持・拡大を図っている。
- 揖斐地域就農支援協議会（JA、市町村、県）の支援メニューを活用し、広範囲な研修や他の担い手・法人との交流を通じ、雇用者の人材育成に取り組んでいる。

(有)サポートいびの概要

【設立】平成17年7月

【代表者】堀尾 茂之

【売上】19,387万円（令和2年）

【事業内容】米・麦・大豆・野菜の生産、加工品製造

【経営面積】米150ha、麦136ha、大豆116ha、野菜

【主要取引先】JA、道の駅他

【従業員数】正社員 15人

【所在地】岐阜県揖斐郡池田町上田1318

【ホームページ】<http://www.support-ibi.jp/>



研修・人材育成の取組内容

【研修内容】

現場研修では、水稻や麦、大豆、園芸作物など多様な品目の栽培技術を学び、積極的に資格取得（大型特殊、ドローンなど）にも取り組むことで、オペレーターとして自覚を高めている。また室内研修としてGAPや経営知識を学び、作業計画や農場全体の生産計画の策定にも参加できる人材の育成に取り組んでいる。

【特長的な取組】

- ・多様な人材を確保し、インターンシップで実際の作業を体験。双方のミスマッチを事前に防いでいる。
- ・自社農場の食材を利用したランチを囲んだミーティングなどで、コミュニケーションを図っている。

【雇用就農者の定着に向けた今後の取組】

- ・積極的な資格取得を更に奨励し、スマート農機などの活用による労働環境の向上に取り組む。
- ・社員と一緒に目標を設定する人事評価制度を導入し、意欲の向上を図る。
- ・平均年間休日109日を実現。育児・介護休業など、働きやすい環境整備と更なる福利厚生充実の充実に取り組む。

キャリアプラン

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・基本的な技術・資格の取得
- ・経営基礎・GAP知識
- ・作物に応じた作業指示、パート従業員の管理

作業主任(3年目～)

- ・担当する作業計画の立案・管理
- ・社員の育成、機械のメンテナンス

部門責任者(6年目～)

- ・農場全体の生産計画、管理